

20歳にお勧めです

王子の 八の 八冊

20歳になられた皆さんおめでとうございます！

八王子で未来を描く人、八王子の思い出を胸に旅立つ人、八王子に未来を求め戻ってくる人、全ての皆様が実りある人生を送ることができるよう、これから切り拓いていく人生の様々な節目や場面で、応援し力を与えてくれる八冊の本を紹介します。

令和5年「二十歳を祝う会」

実行委員会の皆さん



が選ぶ 2冊

「君たちはどう生きるか」

著 吉野源三郎／発行 マガジンハウスほか

1

「コペル君」と呼ばれる15歳の少年が、日常生活で直面するさまざまな問題を通して成長していく物語です。この物語ではコペル君の叔父がコペル君の考えたこと等をノートに書き留めているのですが、その内容を自分自身に投影し、人生に新たな気付きを与えてくれるような本になっています。是非、20歳の皆様に読んでいただきたいです。



「これからの「正義」の話をしよう

いまを生き延びるための哲学

著 マイケル・サンデル／訳 鬼澤忍／発行 早川書房

2

この本はアメリカ、ハーバード大学のマイケル・サンデル教授が実際に行った授業の内容をそのまま書籍化したものになっています。内容はまず「トロツク問題」から始まり、功利主義や道徳論に繋がります。この本は難しい内容も多いですが、哲学的な観点から見てのこれからの生き方や考え方など多くの事を学ぶ事ができる1冊になっています。

これからの
「正義」の
話をしよう

いまを *Justice*
生き延びる
ための哲学
Michael J. Sandel 鬼澤忍・訳
マイケル・サンデル

ハ王子の本好きが選ぶ 4 冊

「メシが食える大人になる！ よのなかルールブック」

監修 高濱正伸／発行 日本図書センター

3

50 のルールがピリ辛だけどあたたかく書かれています。児童書ですが、大人が読んでも響きます。人生で迷ったとき、辛いことがあったとき、そっと応援してくれる一冊です。



「置かれた場所で咲きなさい」

著 渡辺和子／発行 幻冬舎

4

ふとした時に「自分の選んだ道は正しかったのだろうか？」と思うことがこの先あった際、この本に書かれている言葉を思い出し、自分自身を見つめ向き合っしてほしいです。



「夜を乗り越える」

著 又吉直樹／発行 小学館

5

著者が自らの少年期やこれまで読んできた著作を通して、本・文学・人間について考察した本。太宰治について「あの夜を乗り越えられていたら…」と語るくだりは生きる人々への励ましとなっている。



「二十歳のとき、何をしていたか？」

編集／発行 マガジンハウス

6

スポーツ選手やアーティスト、俳優や芸人さん。憧れのあの人がどんな 20 歳を過ごしていたのか。親近感を感じたり、びっくりしたり。まさに 20 歳の皆さんのための 1 冊です。



※図書館利用者の皆様から頂いた投稿を編集して掲載しています

ハ王子の図書館員が選ぶ 2 冊

「現代思想入門」

著 千葉雅也／発行 講談社

7

「秩序」の束縛から解放されたい人におすすめします。本書は、知の巨人たちの思想を紹介しながら「差異」や「多様性」に注目し、「逸脱」を肯定的にとらえていきます。物理的な「支配からの卒業」は無理でも、精神的な自由を得られる一冊です。「盗んだバイクで走り出す」のではなく、知的にとがってみませんか。

現代思想入門
千葉雅也

人生が変わる哲学。



現代思想の真髄を
かつてない仕方
で書き尽くした
「入門書」の決定版

「読書からはじまる」

著 長田弘／発行 筑摩書房ほか

8

本は「はじまり」「もと」という意味を持っている。友人としての本、読書のための椅子、情報ではない言葉の大切さ。これから社会に出ていく、大人にこそ感じてもらえる自分のありようについて考える一冊。読書を楽しみとし、人生の贈り物としての、もう一つの時間を生きるために。

